

竹林整備と竹すだれの製作

全国的な放置竹林の増加で、CO₂削減効果の期待される雑木林に竹が侵入し、里山の環境悪化が懸念されている。そこで地域の環境保全を目的とした竹林整備を行い、温暖化対策に省エネを目的とした「竹すだれ」製作を計画し、独自の編み台を考案・製作した。これを校舎に設置し、夏場の高温対策として遮熱効果の検証を実施した結果、竹すだれを設置しない対照区に比べ、-7%の優位性を確認でき、竹すだれ製作のマニュアル化を実現した。

また、市内中学校との交流学习を通じた環境学習にも取り組み、里山の環境悪化の状況や竹すだれの省エネ効果等の説明や製作を指導、さらに地域住民を対象とした発表会や共同作業を実施し、ホームページで情報発信による啓発活動も実施している。

